

かんたん はじめてお使いになる方へ 操作ガイド

本書は基本的な操作方法について説明しています。

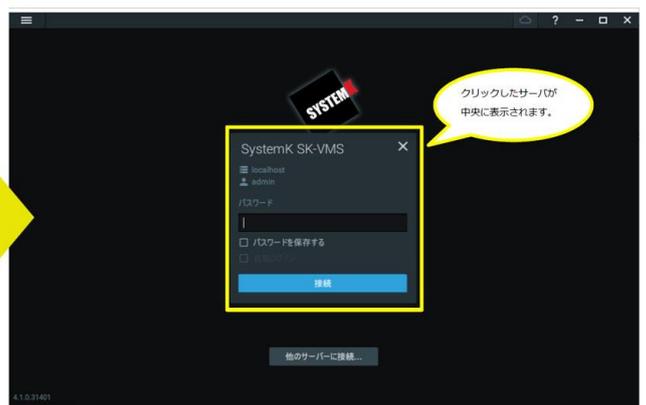
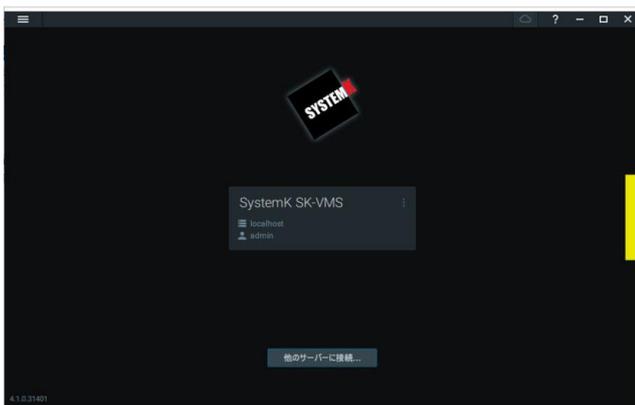
はじめに

SK VMS デスクトップクライアントの操作画面の基本的な操作方法について説明します。



■ デスクトップにある「SK VMS ショートカットアイコン」をダブルクリックします。

デスクトップクライアントが起動するとサーバー選択画面が表示され、過去に接続したサーバーおよび現在接続可能なサーバーが表示されます。



サーバー選択画面の中からログインするサーバーを選択すると、画面中央に表示されます。

画面中央に表示されたサーバーには、過去に使用したログイン ID が表示されます。

また、「パスワードを保存する」がチェックされていると、パスワード入力を省略してログインすることができます。(パスワードが必要な場合は、入力してログインして下さい。)

ライブ再生

現在のシーンに映像リソース (カメラ・録画映像等) を閲覧する操作手順は次の通りです。



- ① リソースツリーから追加するリソースを選びます。
- ② ドラッグして表示したい位置へドロップします。

ライブ再生

① でリソースをダブルクリックしても追加できます。追加されたアイテムは自動配置されます。

映像情報

ビデオまたはカメラの情報が以下のフォーマットで表示されます。

- ・カメラ名称 カメラまたはビデオファイル名称が表示されます。
- ・録画モード 録画モードが下記のアイコンで表示されます。

 : 通常録画  : モーション録画  : 常時低解像度+モーション検知時高解像度  : 録画停止

操作ボタン

アイテムに表示される映像によって、以下のボタンが表示されます。

① ローカルビデオアイテムの場合

 : イメージ拡張  : ズーム画面作成  : スクリーンショット  : 回転  : 情報

 : 閉じる

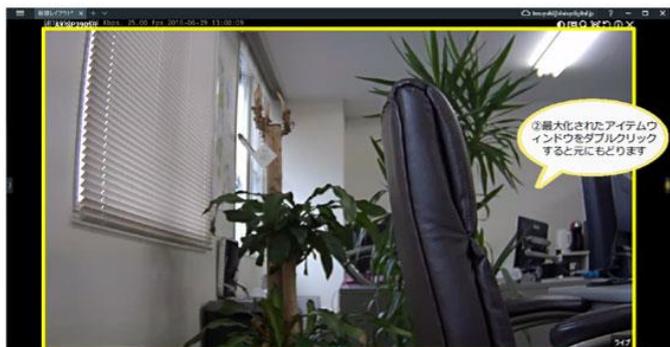
② カメラアイテムの場合（ローカルビデオアイテムボタンに以下のボタンが追加されます。）

 : 歪み補正  : PTZ  : スマート検索

※魚眼レンズと PTZ 操作は、カメラがサポートしているときのみ有効です。

フルスクリーン表示と映像情報の操作

シーン上のアイテムをダブルクリックでフルスクリーン表示。・シーン上のアイテムをクリックで拡大表示&アイテム情報表示



録画映像の再生

録画映像の再生は再生パネルを操作して行います。ここでは、再生パネルの操作ボタンやタイムラインの操作方法について説明します。

タイムラインは録画映像の再生位置を示し、位置を変えることで録画映像の再生位置を変更することができます。



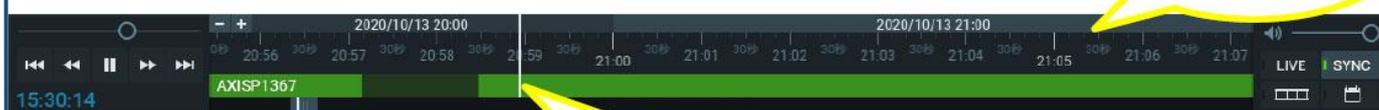
※タイムライン上段が再生中のカメラ(またはファイル)、下段が全体のタイムラインとなる。

再生パネル上のプレイバックボタンを押すことで、録画映像の再生を制御できます。

ライブ/録画の切り替え

■ライブ映像から録画映像への切り替え

- ① 録画映像再生を再生したいカメラアイテムを選択します。
- ② 閲覧したい録画データをタイムラインから選択します。



■録画映像からライブ映像への切り替え

- ① ライブ映像に切り替えたいカメラアイテムを選択します。
- ② 再生パネルの「LIVE」ボタンをクリックします。

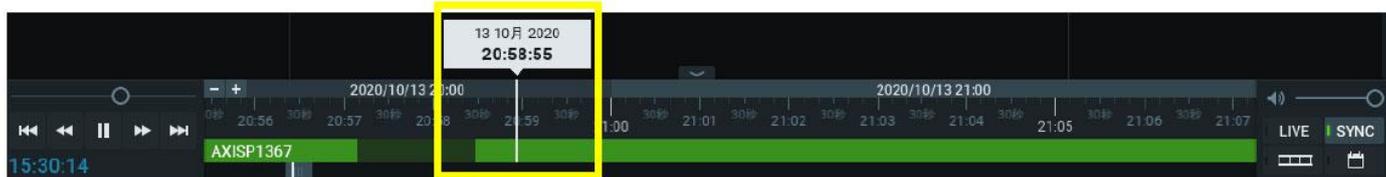


録画映像の再生

再生パネルでのタイムライン操作の説明をします。

タイムラインの移動

録画された範囲でスライダー機能を利用して記録データ時間を移動します。

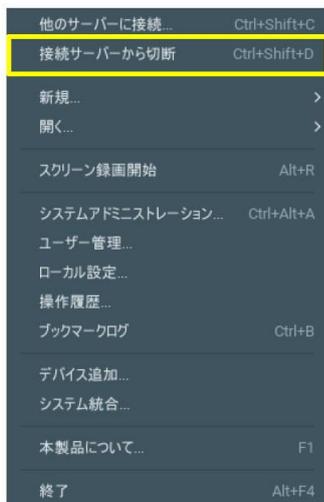


- ・録画時刻はポジションスライダ（□内の縦線）に表示されます。
- ・ライブモード位置よりも左に移動すると録画再生モードに切替わります。
- ・タイムスケジュールはタイムライン下のスクロールバーで表示されます。
- ・タイムスケールはマウスホイールで変更できます。
- ・タイムスケールのスクロールバーをダブルクリックすると、最大でズームアウトします。

ログアウト

システムからログアウトする場合の操作手順は次の通りです。

- ① メインメニューより「接続サーバーから切断」を選択します。



- ② ログアウトが完了すると「サーバー選択」画面が表示されます。

